

施策番号	2112		
施策名	個性的で美しい景観の形成		
概要	自然・歴史的な景観の保全，市街地のきめ細かな景観づくりを推進し，個性的で美しい景観を形成する。		
担当局	都市計画局	共管局	総合企画局・環境局・建設局
上位政策	211 美しいまちをつくる		

### 施策の評価

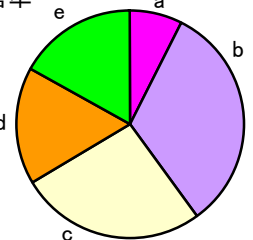
#### 1 客観指標評価

	17年度	18年度	19年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 電柱をなくし管路を道路に埋設した延長(km)	e	c	2.87	1.75	6.86	25.5%	e
2 景観重要建造物件数(件)	-	-	3	20	20	100.0%	a
3 (準)景観保全や整備に関する地区の指定数及び面積(数値は別掲)	c	b	別紙	別紙	-	-	b
4 -	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	d	c	客観指標総合評価				c

#### 2 市民生活実感評価

設問	京都の個性的なまちなみ景観が守られている。						
	回答	17		18		19	
		回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う		65	12.2%	51	9.4%	35	7.4%
b: どちらかというと思う		157	29.6%	184	33.9%	153	32.5%
c: どちらとも言えない		124	23.4%	131	24.1%	125	26.5%
d: どちらかというと思わない		101	19.0%	97	17.9%	78	16.6%
e: そう思わない		84	15.8%	80	14.7%	80	17.0%
有効回答数		531		543		471	
市民生活実感評価		C		C		C	

19回答率



- a: そう思う
- b: どちらかというと思う
- c: どちらとも言えない
- d: どちらかというと思わない
- e: そう思わない

\* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

### 3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	17	18	19
客観指標総合評価	d	c	c
市民生活実感評価	c	c	c
総合評価	C	C	C
重み付け		(理由)	
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	<input type="checkbox"/> 市民の実感	まちづくり行政は、施策の効果が出て、市民の実感に至るまで時間がかかるものなので、客観指標総合評価を重視する。	

### 4 原因分析・今後の方向性

総合評価は昨年度に引き続きC評価となった。客観指標総合評価については、景観重要建造物の指定件数が大幅に増えた一方、電線類地中化事業等により新たに電線や電柱がなくなった区間の距離が単年度目標をかなり下回ったことにより、c評価となっている。また、市民の生活実感も引き続きc評価である。

歴史都市・京都の景観を保全し、創出していくため、今後、地域の景観特性に応じた建築物の高さ規制やデザイン基準の見直し、屋外広告物の規制の強化など、新たな景観政策を着実に実施していくとともに、景観重要建造物の修理・修景に対する助成制度や電線類地中化事業をより一層進めていくための予算の確保のために国への要望活動を行っていく。

#### (参考) この施策実現のための主な事務事業

	事業名	18年度予算 (千円)*	19年度予算 (千円)*	18年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	国家戦略としての京都創生の推進	77,912	87,912	充実	総合企画局京都創生推進室
2	美観地区等規制指導事務	43,443	47,579	充実	都市計画局都市景観部都市景観課
3	界わい景観整備地区等助成事業	78,500	73,500	現状のまま継続等	都市計画局都市景観部都市景観課
4	伝統的建造物群保存等事業	59,417	45,517	現状のまま継続等	都市計画局都市景観部都市景観課
5	屋外広告物等の規制・啓発等事業	59,417	52,337	充実	都市計画局都市景観部都市景観課・風致保全課
6	京都市嵯峨鳥居本町並み保存館	3,400	3,400	現状のまま継続等	都市計画局都市景観部都市景観課
7	京都創生・景観づくり事業	59,824	249,824	充実	都市計画局都市景観部都市景観課
8	風致地区規制指導等事務	81,776	91,016	充実	都市計画局都市景観部風致保全課
9	違法開発監察事務	28,202	28,202	現状のまま継続等	都市計画局都市景観部風致保全課
10	自然風景保全地区規制指導等事業	14,135	14,111	縮小等による見直し	都市計画局都市景観部風致保全課
合計		2,559,586	2,361,302		
うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		566,896 (1,992,690)	793,162 (1,568,140)		

\* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	2112	個性的で美しい景観の形成
-----	------	--------------

指標名	電柱をなくし管路を道路に埋設した延長(km)
-----	------------------------

担当課	道路環境整備課	連絡先	222-3570
-----	---------	-----	----------

### 1 指標の説明

当該年度の電線類地中化事業等により、電気事業者・電気通信事業者・道路管理者などの電線(光ファイバー含む)とそれらが支持する電柱が存在しなくなった区間の延長。電柱の抜柱がまだの場合も含む。また地中化事業によらない場合(裏配線・軒下配線等)も含む。なお、両側電柱区間では両側の延長の合計とする。

### 2 指標の意味

電線類の地中化などにより、安全で快適な通行空間の確保や都市景観の向上が図られたかを示す指標

### 3 算出方法・出典等

当該年度の電線類地中化事業等により、電線や電柱がなくなった道路における管路の延長

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	2.87	1.75	1.12km増	6.86	第5期無電柱化推進計画(平成16~20年度)の整備延長について、国補助に応じた事業量を単年度目標とした。	25.5%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	34.29	20年度	15.40%	第5期無電柱化推進計画(平成16~20年度)

備考	平成18年度末で49.88km延長済(第1期計画分~)
----	-----------------------------

### 5 評価基準

単年度目標に対する達成度が  
a: 100%以上  
b: 80%以上100%未満  
c: 50%以上80%未満  
d: 30%以上50%未満  
e: 30%未満

### 6 基準説明

目標値は事業予算の関係上、上回ることは困難なため、100%の達成を最高のaとし、過去の目標達成率で最低値であった30%未満をeとして等間隔に基準を設定した。

### 7 評価結果

17	18	19
e	c	e

指標名	景観重要建造物件数(件)
-----	--------------

担当課	景観政策課	連絡先	222-3397
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

京町家をはじめとする地域の景観のシンボリックな役割を果たしている建築物等の数

### 2 指標の意味

地域の景観の維持及び向上に資する建築物の状況を示す指標

### 3 算出方法・出典等

建造物の総合計  
出典: 事業担当課調査

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	3	20	17件増加	20	中長期目標を達成するための単年度増加件数(17件)	100.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	全国1位	108	平成23年	18.50%	歴史的意匠建造物件数

備考	
----	--

### 5 評価基準

最新の増加数が  
a: 過去の最高値以上  
b: 過去の最高値と上中間(最高値と平均値の間)の間  
c: 過去の上中間と平均値の間  
d: 過去の平均値と下中間(平均値と最低値の間)の間  
e: 過去の下中間以下

### 6 基準説明

景観上重要な建造物であり、保全のための規制及び支援施策の対象となる建造物の件数の増減は、景観施策の効果を反映することとなるため、前年度からの増加数と過去の増加数を比較した基準を設定した。

### 7 評価結果

17	18	19
-	-	a

施策名	2112	個性的で美しい景観の形成
-----	------	--------------

指標名	(準) 景観保全や整備に関する地区の指定数及び面積 (数値は別掲)
-----	-----------------------------------

担当課	景観政策課, 市街地景観課, 風致保全課
-----	----------------------

連絡先	222-3397, 222-3474, 222-3475
-----	------------------------------

### 1 指標の説明

各地域の特色ある景観の維持及び向上を目指して指定した地区の数と面積

### 2 指標の意味

景観保全のための規制, 指導, 誘導等が及ぶ範囲の状況を示す指標

### 3 算出方法・出典等

各地区の数と面積の総合計  
出典: 事業担当課調査

### 4 数値

数値	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	別紙	別紙	別紙	-	-	-

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
-	-	-	-	-	-

備考	-
----	---

### 5 評価基準

最新の数値が前年度と比較して  
a: 過去5年間で最大の増加  
b: 増加  
c: 同水準  
d: 減少  
e: 過去5年間で最大の減少

### 6 基準説明

地区の指定数及び面積の増減は, 景観保全及び整備施策の効果が第1次的に及ぶ範囲の増減を示すものであるため, 前年度と比較した基準を設定した。

### 7 評価結果

17	18	19
c	b	b

景観保全や整備に関する地区の指定数

(別紙)

		平成17年度	平成18年度	前年度比 %	前年度からの増加数
美観地区	地区数	10	10	100.0	0
	面積(ha)	1,956	1,956	100.0	0
建造物修景地区	面積(ha)	6,704	6,704	100.0	0
沿道景観形成地区	地区数	1	1	100.0	0
	面積(ha)	17.1	17.1	100.0	0
歴史的景観保全修景地区	地区数	3	3	100.0	0
	面積(ha)	14.1	14.1	100.0	0
界わい景観整備地区	地区数	7	7	100.0	0
	面積(ha)	144.5	144.5	100.0	0
伝統的建造物群保存地区	地区数	4	4	100.0	0
	面積(ha)	14.9	14.9	100.0	0
風致地区	地区数	17	17	100.0	0
	面積(ha)	17,831	17,831	100.0	0
自然風景保全地区	面積(ha)	25,780	25,780	100.0	0
歴史的風土保存区域	地区数	14	14	100.0	0
	面積(ha)	8,513	8,513	100.0	0
近郊緑地保全区域	地区数	1	1	100.0	0
	面積(ha)	3,333	3,333	100.0	0
緑地保全地区	地区数	2	2	100.0	0
	面積(ha)	26	26	100.0	0
買取面積	古都保存事業(m <sup>2</sup> )	2,025,566.73	2,178,054.73	107.5	152,488
	緑地保全事業(m <sup>2</sup> )	18,058	21,116	116.9	3,058
施設整備	数	4	4	100.0	0
	面積(m <sup>2</sup> )	4,683	4,683	100.0	0